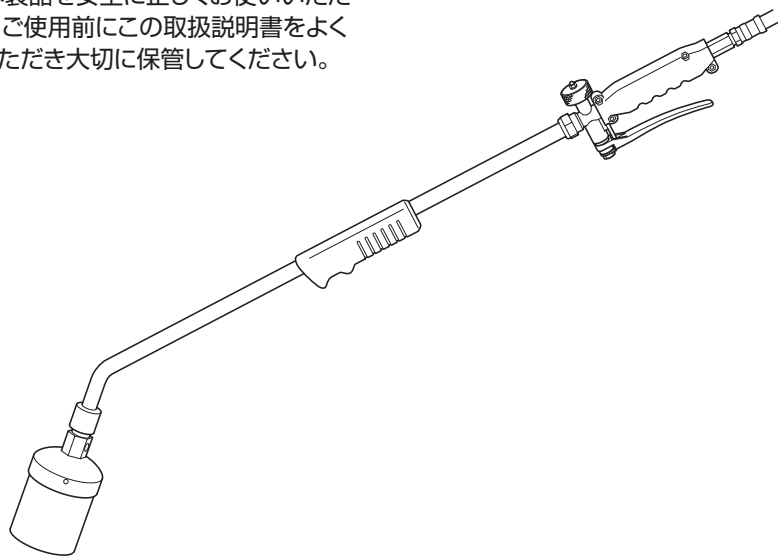


トリガー式プロパンバーナー

取扱説明書 〈生産物賠償責任保険付・保証書付〉

このたびは、トリガー式プロパンバーナーをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。本製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき大切に保管してください。



目次

特に注意していただきたいこと	1~2
仕様一覧／部品の組み換え	3
各部の名称／使用方法	4~5
日常の点検・手入れ・保管	6
故障・異常の見分け方と処置方法	6
アフターサービス	7

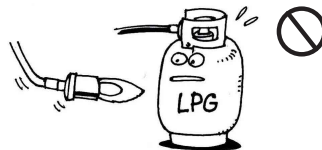
◆ 特に注意していただきたいこと

イラストの横にある ㊄ マークは禁止を表わします。

⚠ 警告 (取扱いを過った場合、使用者が死亡、または重傷を負う可能性が想定されることを示します。)

■ 使用ボンベについて

- 炎や熱気をLPガスボンベやホースに近づけないでください。



- 燃料は、プロパンガス以外のものを絶対に使用しないでください。
- LPガスボンベに強い衝撃を与えないでください。
- LPガスボンベのバルブ口にホースの先端をしっかりと取り付けてください。取り付けが不十分ですとガスもれの原因となります。

- LPガスボンベは必ず直立状態で使用してください。倒した状態で使用すると炎が異常に大きくなりやけどをする危険があります。また、LPガスボンベは風通しのよい所に置いてください。

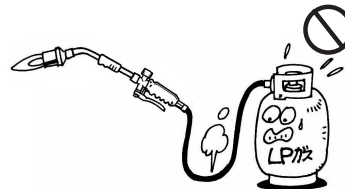


- 通常プロパンガスは無色です。白色のガスが出る時は、生ガスが出ているので、点火しないでください。生ガスが出た時は、一度LPガスボンベのバルブを閉じ、プロパンバーナーのバルブハンドルだけを開け、ホース内の生ガスを放出してください。
- LPガスボンベのガスを故意に吸い込まないでください。酸欠の原因となります。

⚠ 警告 (取扱いを過った場合、使用者が死亡、または重傷を負う可能性が想定されることを示します。)

■ ガス事故、やけどの防止について

- 常にガスもれないよう十分に注意してください。ガスもれに気が付いた場合は絶対に火をつけないでください。



- 作業終了後および、移動の際は必ずLPガスボンベのバルブを閉じてください。

- 着火時および使用中は火口を人体に向けてたり、のぞきこんだりしないでください。やけどをするおそれがあります。



- 使用中および使用直後は、火口付近が熱くなっていますので手をふれたり可燃物を近づけたりしないでください。



◆ 特に注意していただきたいこと

イラストの横にある ⊘ マークは禁止を表わします。

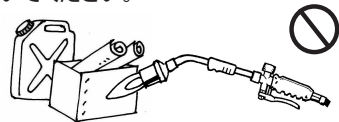
⚠ 注意 (取扱いを過った場合、使用者が障害を負う危険、および物的損害のみが想定されることを示します。)

■ 火災予防のために

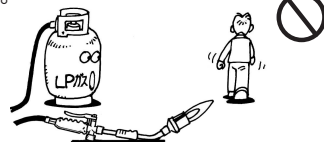
- 換気の十分な場所で使用してください。また、可燃物（家屋、板べい、かやぶき屋根、はめ板など）、火気厳禁の場所からは十分離れて使用してください。



- 引火するおそれのある物の近くでは使用しないでください。



- 火のついたままその場を離れないでください。



- 使用の際は、消火用の水または消火器を必ず用意し、火災には十分注意してください。

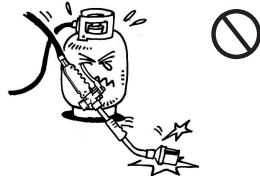
■ 子供に注意

- お子様には絶対に使わせないようにしてください。お子様の手の届かない所に保管してください。



■ 落下注意

- グリップをしっかりと持って作業してください。予想しない事故が発生するおそれがあります。



- 火力調整レバーのみを持って持ち運んだり、火力調整レバーに負荷がかかるような使用、保管をしないでください。破損するおそれがあります。

■ ホースの取扱上の注意

- ホースとグリップの接続部を無理に折り曲げるなど、負担のかかるような使い方はしないでください。破損してガス漏れを起す恐れがあります。



- ホースを引っ張ってLPガスボンベを移動させたり、持ち上げたりするなどホースに荷重がかかるような使い方はしないでください。ホースが破れるおそれがあります。

- 長時間使用しない場合はLPガスボンベからホースをはずし、直射日光の当たらない屋内に保管してください。

■ 異常時使用禁止

- 万一、異常燃焼を起した場合や緊急の場合はあわてずにバルブハンドルを閉じてください。ホースの破れた所から炎が出た場合は、炎に気をつけてLPガスボンベのバルブを閉じてください。バーナー部分が完全に冷めてから、点検、修理を依頼してください。

◆ アフターサービス

アフターサービスを依頼する前に「故障・異常の見分け方と処置方法」を見てもう一度確認してください。確認の上ご不明な場合は、ご自分で修理なさらず、お買い求めになった販売店または当社「お客様係」 ☎ 0120-75-5000までご相談ください。

トリガー式プロパンバーナー 保証書

この製品は万全を期していますが正しい使用にもかかわらず万一故障した場合は本保証書に品番、お買上げ年月日、販売店名、ご芳名、ご住所、お電話番号及び症状をお書き添えの上、お買上げの販売店に修理を御依頼ください。

製品名	トリガー式プロパンバーナー	ご芳名	
品番		ご住所	
保証期間	お買上げ日より1年間	お電話	()
お買上げ日	年 月 日		

取扱販売店・住所・電話番号

症状

保証規定

※この保証規定は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

- 保証期間内に、取扱説明書に従った正常なる使用状態において、万一故障した場合には、無料で修理いたします。
- 修理依頼時には、つぎの事項にご注意ください。必ず、商品と本保証書をご提示ください。保証期間を過ぎた修理依頼も商品と本保証書をご提示ください。商品と本保証書の提示のない場合は、修理をお断りする場合があります。ご贈答品等で本保証書にお買上げ販売店に修理がご依頼できない場合には、当社「お客様係」 ☎ 0120-75-5000 までご連絡ください。
- 保証期間内でも、つぎの場合は有料修理になります。
 - ・使用上の誤り、不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - ・お買上げ後の落下、移動、輸送等による故障及び損傷。
 - ・火災、地震、水害、落雷、塩害、弊社指定以外の燃料使用によるもの、その他、天災地変、公害による故障及び損傷。
 - ・保証書の提示がない場合。
 - ・本保証書の所定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合。
- 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。本保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

新富士バーナー株式会社

Shin Fuji Burner

製造発売元
新富士バーナー株式会社
愛知県豊川市御津町御幸浜1号地1-3
TEL0533-75-5000(代) FAX0533-75-5033
http://www.shin Fuji.co.jp/ MADE IN JAPAN

2015.10

◆ 仕様一覧／部品の組み換え

■仕様一覧

品番	火口	火口径 (mm)	発熱量 kW(kcal/h)	ガス消費量 (kg/h)	炎温度 (℃)	炎形状	接手	全長(mm) (ホースを除く)	重量(kg)(ホース含む)	
									3mの場合	5mの場合
L-7T	7号	60	83.7(72,000)	6.0	1,500	棒状炎	L-500	750	1.73	2.13
L-8T	8号	75	116.3(100,000)	8.4	1,500	棒状炎	L-700	920	2.05	2.45
L-10T	10号	100	167.4(144,000)	12.0	1,500	棒状炎	L-700	980	2.78	3.18

発熱量、ガス消費量は5分間の燃焼データを1時間に換算したものです。

■部品の組み換え

別売部品の「火口」「接手」に交換することで、作業に応じた組み換えができます。

※火口SS1号～火口6号は使用できません。

火口

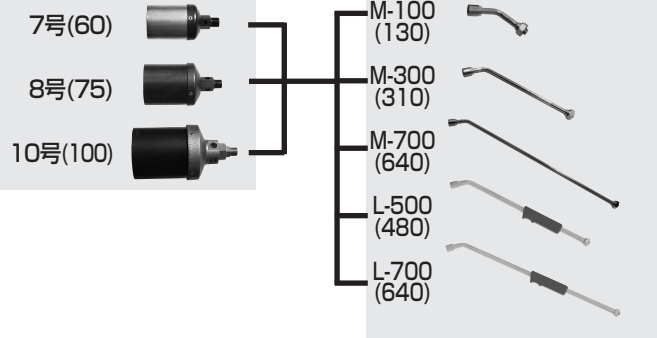
発熱量が火口により変わります。

接手

作業に応じた製品の長さ
に組み換えできます。
炎形状、炎温度、発熱量は
変わりません。

火口名(火口径mm)

接手名 (長さmm)



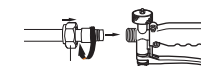
部品交換方法

火口の交換



火口の雄ネジを接手の雌ネジにねじ込み(右)の方向に回らなくなるまで回してください。

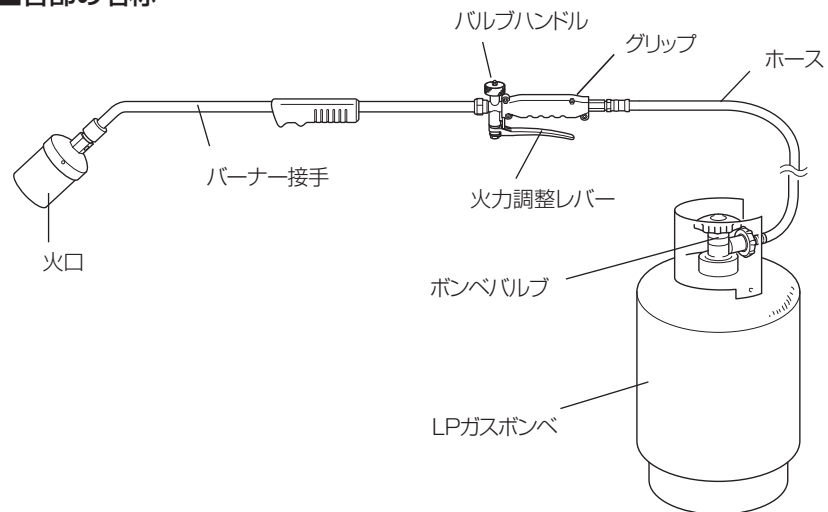
接手の交換



バルブの中に火口及び接手を差込み、袋ナットを(右)方向に回らなくなるまで回してください。

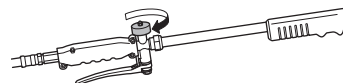
◆ 各部の名称／使用方法

■各部の名称

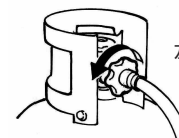


■組付け

1. バルブハンドルが閉じていることを確認します。



2. LPガスボンベのバルブ口を清掃し、ゴミ、よごれがないことを確認します。プロパンバーナーのホース先端のネジ部分をしっかりと接続します。
※ネジは左ネジですからネジ込みの際御注意ください。



左にネジ込む

3. LPガスボンベのバルブを開き、バルブの接続口、ホース等からガスもれのないことを確認します。

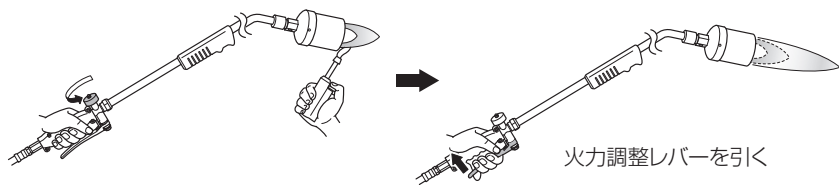
⚠ 警告

ガスもれに注意

常にガスもれのないよう十分に注意してください。ガスもれに気が付いた場合は絶対に火をつけないでください。

■ 点火

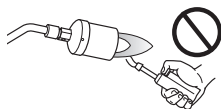
- トリガー式プロパンバーナーのバルブハンドルを少し開いて、先の長いライター等で火口の横下部から点火します。メラメラとした赤色の「種火」を点火させます。
 - 火力調整レバーを引き青色の勢いのある火炎を噴射させます。火力調整レバーを離すと「種火」に戻ります。
- ※バルブハンドルを開いたら速やかに点火してください。
 ※ガスの噴出量が多いと点火しない場合があります。点火しない場合は、一度バルブハンドルを閉じ、再度ガスの噴出量を少なくして点火操作を行ってください。
 ※生ガス(白い霧状のガス)に点火すると、赤い炎が大きく燃え上がり、やけど、火災のおそれがあります。また生ガスを出すとノズル詰まりの原因になりますので注意してください。



火力調整レバーを引く

⚠ 注意 点火時やけどに注意

点火する際、火口の正面から点火すると炎が手にかかり、やけどをするおそれがありますので注意してください。



■ 火力調整

- 火力調整は火力調整レバーを引く力の強弱で調整します。
- バルブハンドルは左に回すと圧力が上がり、火炎が強くなります。

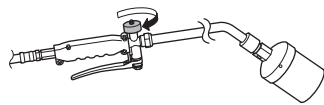
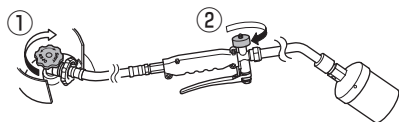
■ 消火

作業を終了する際は、先にLPガスボンベのバルブを右に回して閉め、ホース内のガスが完全に消えてから、バルブハンドルを閉めて作業を完了します。作業中、一時的に消火する際はバルブハンドルを開けて消火します。

※長時間使用しない場合はLPガスボンベからホースをはずし、直射日光の当たらない屋内に保管してください

作業を終了する時

一時的に消火する時



■ 点検・手入れの際の注意

- 日常の点検、手入れは必ず行ってください。
- 点検・手入れはバーナーが冷えてから行ってください。
- 故障または損傷したと思われるものは絶対使用しないでください。
- 点検・手入れの際は、絶対分解しないでください。
- 不完全な修理は危険です。万一具合が悪くなって処理に困るような場合は、お買い求めになった販売店または、当社「お客様係」フリーダイヤル ☎ 0120-75-5000までご相談ください。

■ 点検・手入れの方法

- ホースの点検
ホースにひびや破れのないことを点検します。
- 各部ネジのゆるみの点検
火口、グリップ、ホース等の接続ネジ、ナットがゆるんでいないか点検します。
- 各部破損の点検
グリップの割れ、バルブハンドル等の破損がないか点検します。

■ 保管方法

- 長時間使用しない場合はLPガスボンベからホースをはずし、直射日光の当たらない屋内に保管してください。

◆ 故障・異常の見分け方と処置方法

現象 原因	着火しにくい	炎が弱くなる	炎が突然消える	消火しない	ガスくさい	処置方法
ガス圧が高い			○			バルブハンドルでガスの噴出量を調節する
ノズルがつまっている	○	○				点検、修理を依頼する
ガスが少ない	○	○				新しいボンベに取り替える
バルブハンドルの開き過ぎ	○					バルブハンドルでガスの噴出量を少なくする
LPガスボンベが冷えている		○				LPガスボンベを風通しの良い所に30分位放置する
バルブハンドルの故障				○	○	LPガスボンベのバルブを閉じ消火し点検、修理を依頼する
グリップと各部接続ネジのゆるみ					○	点検、修理を依頼する
ホースのひび、破れ					○	点検、修理を依頼する